



トステム株式会社

セイバーテラス(7尺～15尺)・ライザーテラス(7尺～10尺) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

- 同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・それぞれの地域に対応したテラスをお選びください。
- 一般地域600タイプ→耐えられる積雪量の目安20cm相当(600N/㎡(61.2 kgf/㎡))
- 特殊地域1500タイプ→耐えられる積雪量の目安50cm相当(1500N/㎡(153.0 kgf/㎡))
- 特殊地域3000タイプ→耐えられる積雪量の目安100cm相当(3000N/㎡(305.9 kgf/㎡))
- ・本製品は、タイプ・サイズごとに設置可能な階数が決まっています。右記の表にしたがって取付けてください。
- ・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ・他社商品(バルコニーなど)と組合わせて設置しないでください。
- ・高い建物のそばや周りに障害物がなく、直接強い風が吹くような場所では補強プレスで製品の補強をしてください。
- ・母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- ・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- ・崖っぴちなどの高低差のあるところには設置しないでください。

●躯体への固定

- ・垂木掛け、柱壁付固定部品は柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けしないでください。
- ・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ・プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

●部材の固定

- ・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まないように締付けてください。

●施工時の足場について

- ・施工時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

●基礎について

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・海砂を使用の場合は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
- ・取付け前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- ・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
- ・柱(屋根柱は除く)には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱間の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分(4日～1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
- ・コンクリート(又はモルタル)に急結材は絶対に使用しないでください。

●パネルについて

- ・屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
- ・屋根の取付けは垂木へののみ込みが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。

●取付け上について

- ・みだりに改造・変更をしないでください。
- ・前枠の内観右側にブランドラベル(商品名シール)が張ってあります。間口切詰めをする際には、ブランドラベル(商品名シール)がなくならないようにしてください。

※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●絶縁処理

- ・アルミ形材が垂鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
- ・シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

■セイバーテラス・ライザーテラス 上止めタイプ

	1階	2階	3階
3・4尺	○	○	関東間のみ○
5・6尺	○	○	×
7～10尺 12・15尺	○	×	×



■シーリングメーカー

・信越化学工業	シーラント72
・東芝シリコン	トスシール380
・東レシリコン	SE960

■取付け上のお願

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
- 本取付け説明書はライザーテラスを基本とした説明になっています。特に注記がない場合は、セイバーテラスも同様の取付け方法となります。
- 取付けは専門業者が行ってください。
- 当社指定の付属品以外は取付けしないでください。

■構成図

●ライザーテラス

※図は、ライザーテラス600タイプ
間口2.0間、出幅7尺を示します。
(※左右どちらかの表示になります。)

7 野縁

※野縁本数/スパン

	600タイプ	1500タイプ	3000タイプ
3・4尺	1	1	1
5・6尺	2	2	2
7・8尺	3	2	—
9・10尺	2	2	—

10 端部垂木カバー

ロットNo.
表示位置

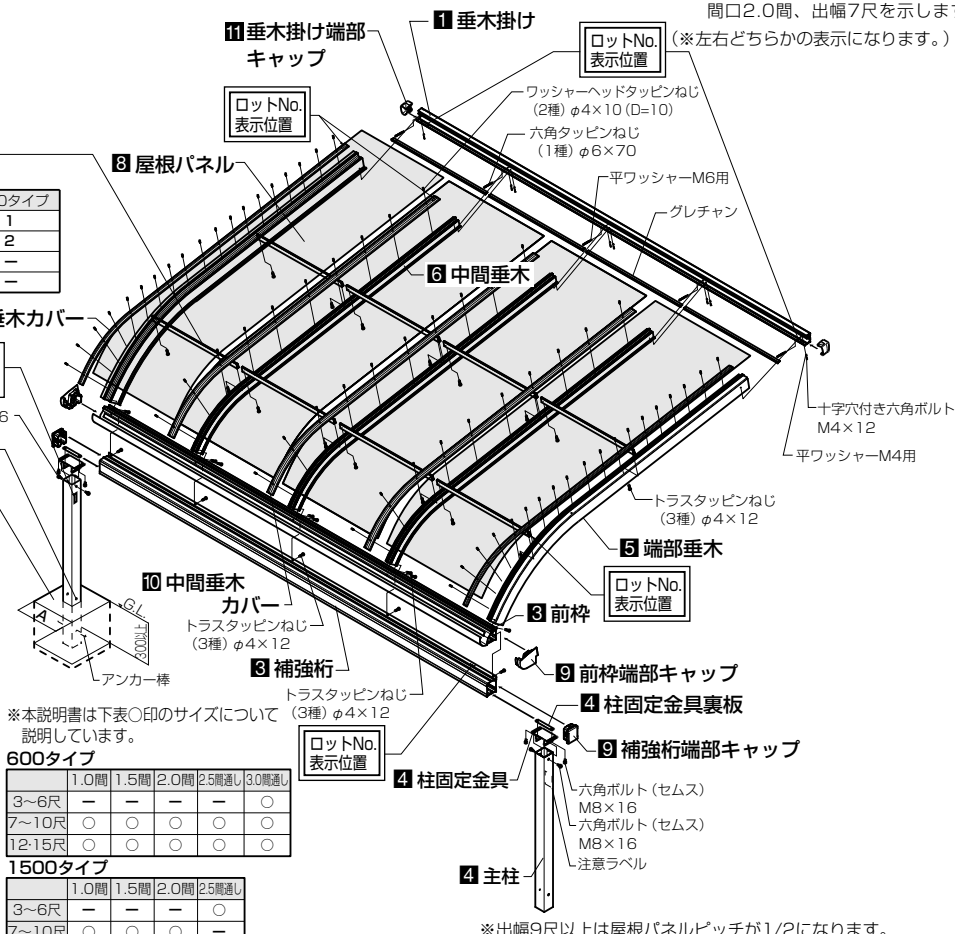
六角ボルト(セムス) M8×16

水抜き穴(φ6)
(現場加工)

2 柱(位置決め)
13 柱(基礎)

■基礎サイズ表(A寸法)

タイプ	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺	10尺
600タイプ	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し			
				□300				□350
								□500
								□550
1500タイプ	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し			
				□300				
3000タイプ	3R	4R	5R	6R				
	1.0間	1.5間	2.0間					
				□500				



※出幅9尺以上は屋根パネルピッチが1/2になります。

●セイバーテラス

7 野縁

※野縁本数/スパン

	600タイプ	1500タイプ	3000タイプ
3・4尺	1	1	1
5・6尺	2	2	2
7・8尺	3	2	—
9・10尺	2	2	—

10 端部垂木カバー

ロットNo.
表示位置

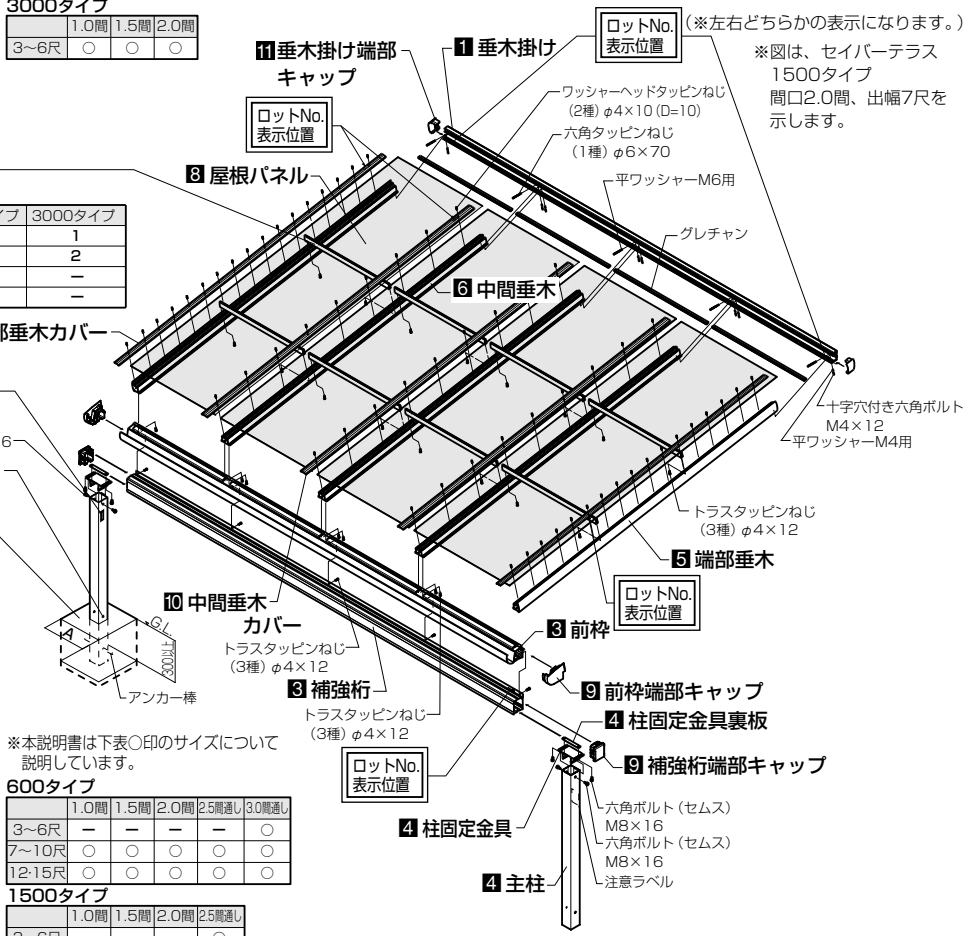
六角ボルト(セムス) M8×16

水抜き穴(φ6)
(現場加工)

2 柱(位置決め)
13 柱(基礎)

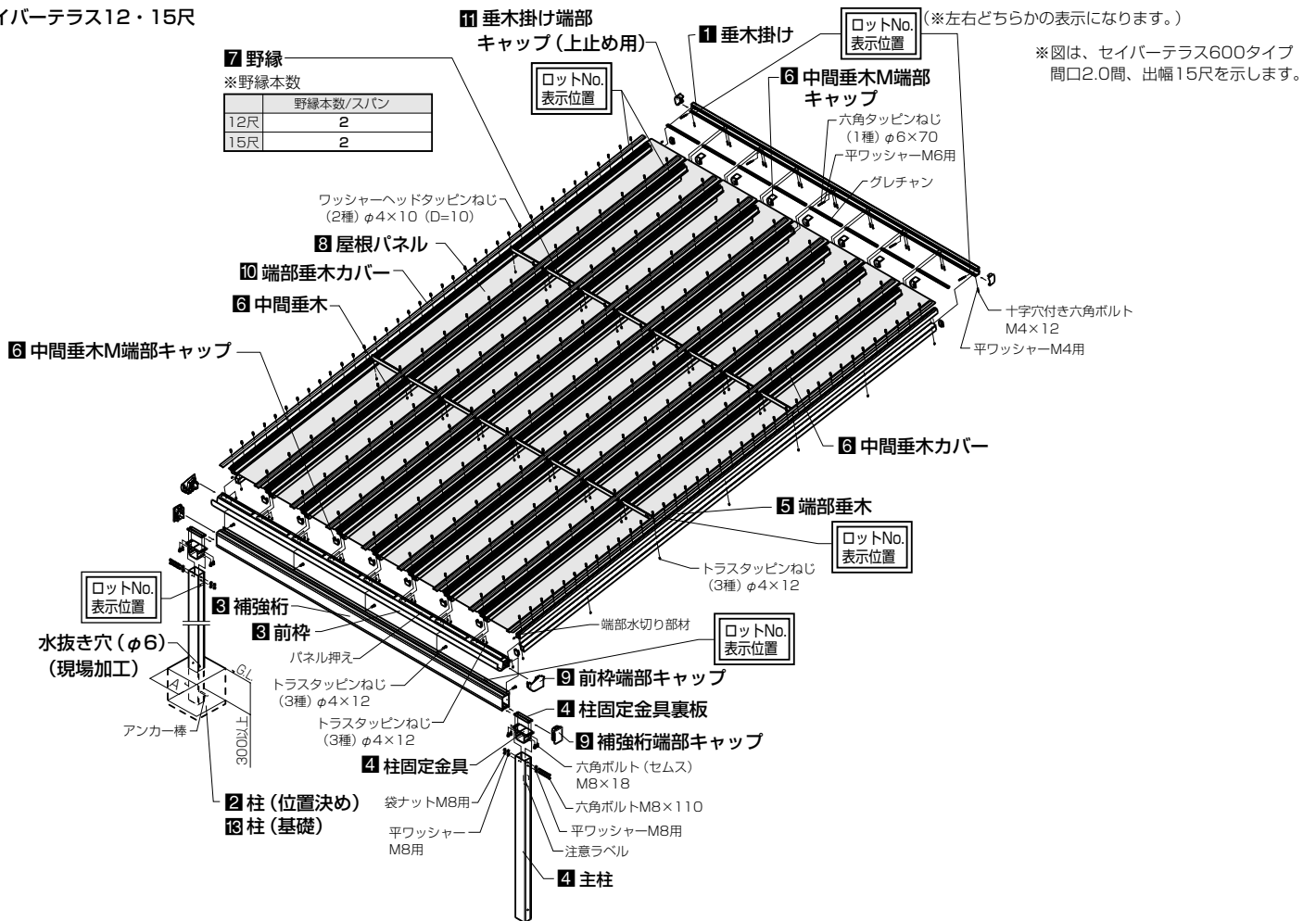
■基礎サイズ表(A寸法)

タイプ	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺	10尺
600タイプ	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し			
				□300				□350
								□500
								□550
1500タイプ	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し			
				□300				
3000タイプ	3R	4R	5R	6R				
	1.0間	1.5間	2.0間					
				□500				



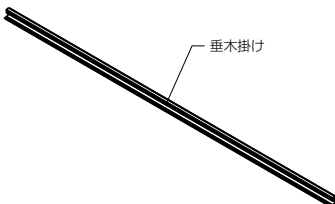
※出幅9尺以上は屋根パネルピッチが1/2になります。

●セイバーテラス12・15尺



■取付け手順

1 垂木掛け

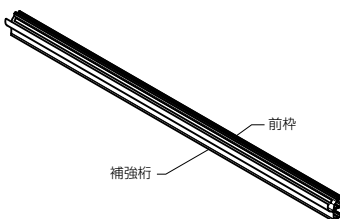


2 柱の位置決め

<柱を基礎で固定する場合>

- ① 柱埋込み位置決定
- ② 柱の仮固定

3 前枠・補強桁の取付け



■取付け詳細

1 垂木掛け

●垂木掛けを躯体に取付ける際、必ず水準器で水平を出してください。

▲ 注意

- 垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

【関西間の場合】

●垂木掛けに躯体取付け用の穴はあいていません。柱および間柱の位置に合わせてφ6.5の穴をあけてください。

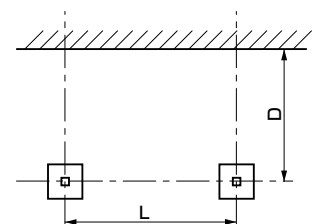
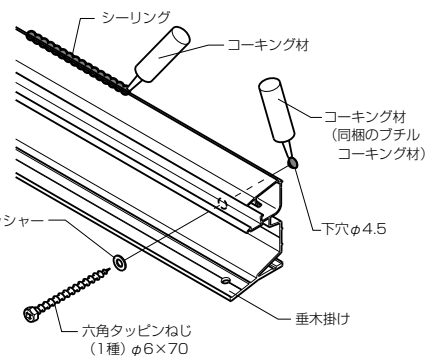
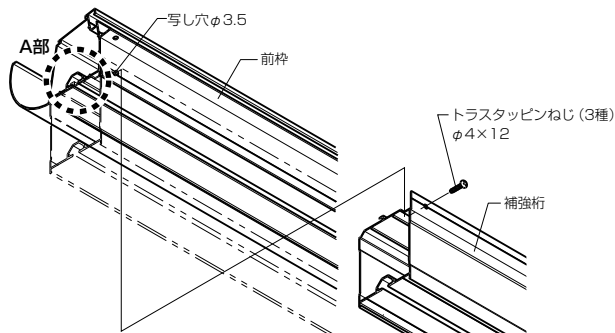
2 柱の位置決め

<柱を基礎で固定する場合>

※注意ラベルが必ず内側にできるように設置してください。
 ① 柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。柱の位置は右図とP.13、P.14、P.15の納まり図を参考に決めてください。
 ② 柱が倒れないように仮固定してください。
 ※柱移動により雨どいが取付かない位置にならないようにしてください。

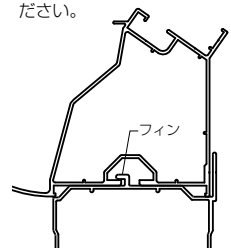
3 前枠・補強桁の取付け

●前枠にφ3.5の写し穴をあけた後、前枠と補強桁をねじ止めしてください。



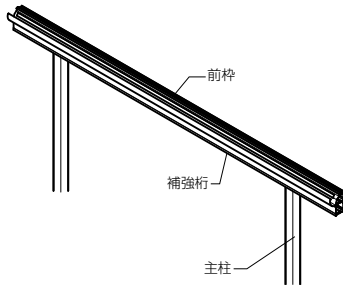
■A部詳細図

※フィンが引っ掛かっていることを確認して取付けてください。



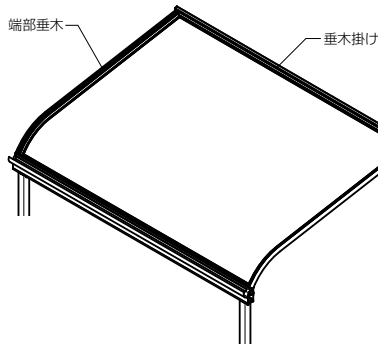
4 柱-前枠・補強桁の取付け

- ①柱固定金具と前枠・補強桁の固定
- ②柱固定金具と柱の固定



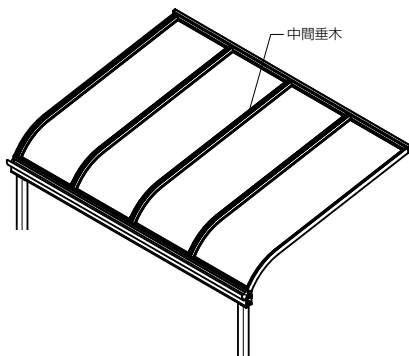
※間口が大きい場合、補強桁の重量が重くなるため、補強桁を柱に取付けた後、前枠を補強桁に取付けてください。

5 端部垂木の取付け



6 中間垂木の取付け

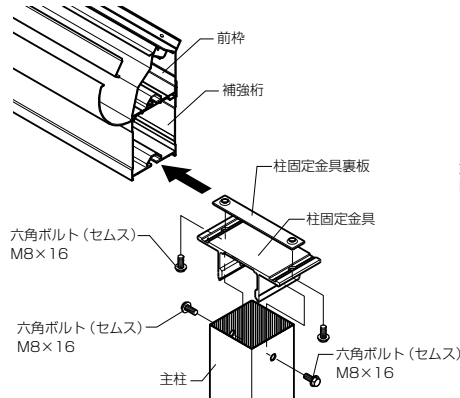
※補強垂木の取付け (1500タイプ 7・8尺)



4 柱-前枠・補強桁の取付け

※前枠の内観右側にブランドラベル (商品名シール) が張ってあります。間口切詰めをする際には、ブランドラベル (商品名シール) が残るように切詰めてください。

- ①柱固定金具裏板を補強桁の溝に挿入し、柱固定金具とボルトで仮固定してください。⑤の端部垂木を取付けた後、直角を出して固定してください。
- ②柱固定金具を柱に差込み、固定してください。

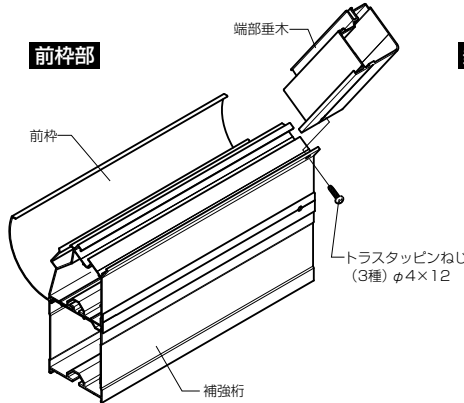


5 端部垂木の取付け

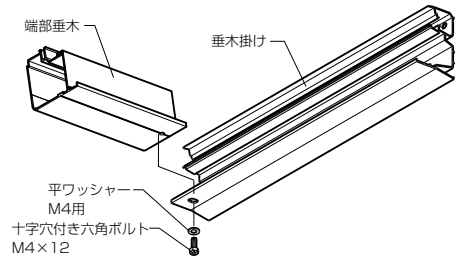
●図のように端部垂木を前枠・垂木掛けに取付けてください。

※12・15尺の場合「9 前枠端部キャップ・補強桁端部キャップの取付け」を参考にして、先に補強桁端部キャップ・前枠端部キャップを取付けてください。先に端部垂木を取付けてしまうとねじ止めができなくなります。

前枠部

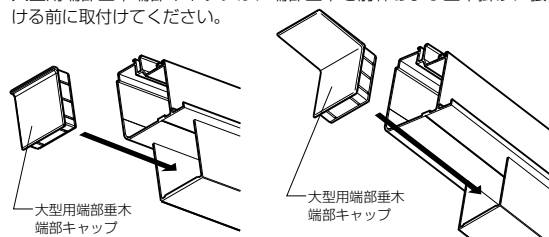


垂木掛け部



●12・15尺の場合

- ①大型用端部垂木端部キャップを取付けてください。
- ②図のように、端部垂木を前枠・垂木掛けに取付けてください。※大型用端部垂木端部キャップは、端部垂木を前枠および垂木掛けに張付ける前に取付けてください。



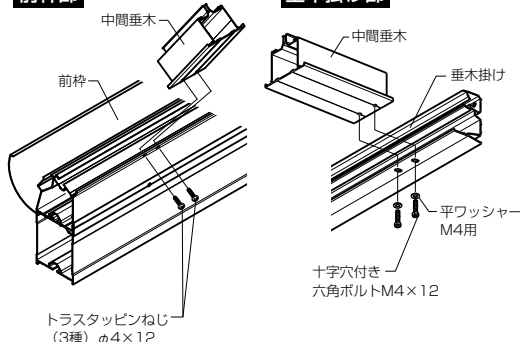
前枠側 (切欠き小)

垂木掛け側 (切欠き大)

6 中間垂木の取付け

●図のように中間垂木を前枠・垂木掛けに取付けてください。

前枠部

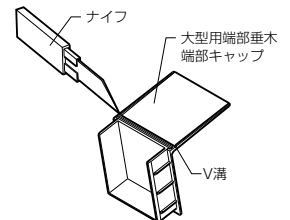


垂木掛け部

●ポイント

※大型用端部垂木端部キャップの加工

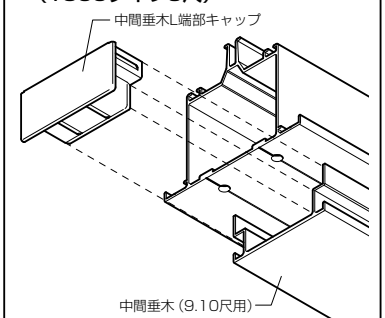
前枠側に取付ける大型垂木端部キャップのみ、ナイフ・カッターなどでV溝にそってフィンを切断してください。



●セイバーテラスの場合

※中間垂木9尺用には中間垂木L端部キャップが取付きます。※中間垂木L端部キャップは、中間垂木を前枠および垂木掛けに取付ける前に取付けてください。

■中間垂木L端部キャップの取付け (1500タイプ9尺)



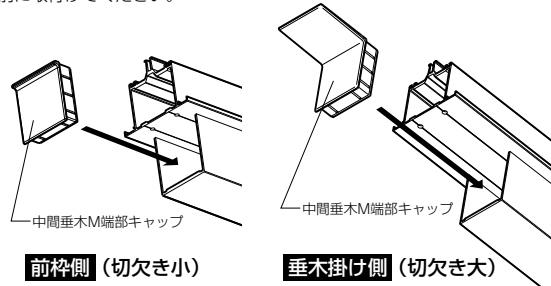
●12・15尺の場合

①中間垂木M端部キャップを取付けてください。

②図のように、中間垂木を前枠・垂木掛けに取付けてください。

※中間垂木には、前後があります。前後の切欠きが小さい方を前枠部に取付けてください。

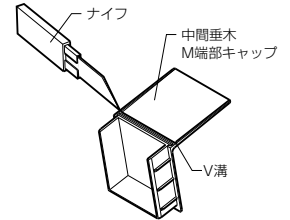
※中間垂木M端部キャップは、中間垂木を前枠および垂木掛けに取付ける前に取付けてください。



・ポイント・

※中間垂木M端部キャップの加工

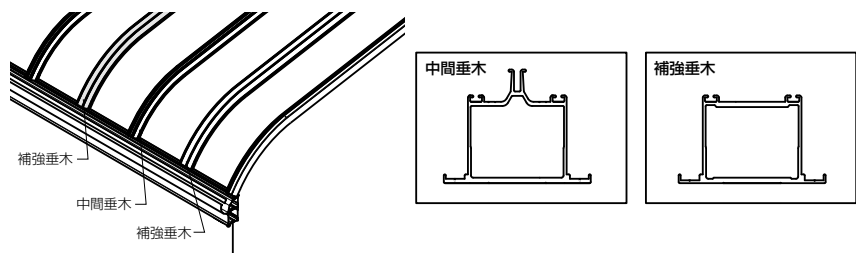
前枠側に取付ける中間垂木M端部キャップのみ、ナイフ・カッターなどでV溝にそってフィンを切断してください。



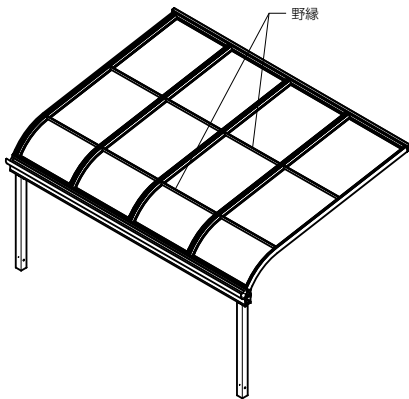
●補強垂木の取付け (1500タイプ 7・8尺)

補強垂木は中間垂木同様に前枠・垂木掛けに取付けてください。

※補強垂木は中間垂木と交互に取付けてください。

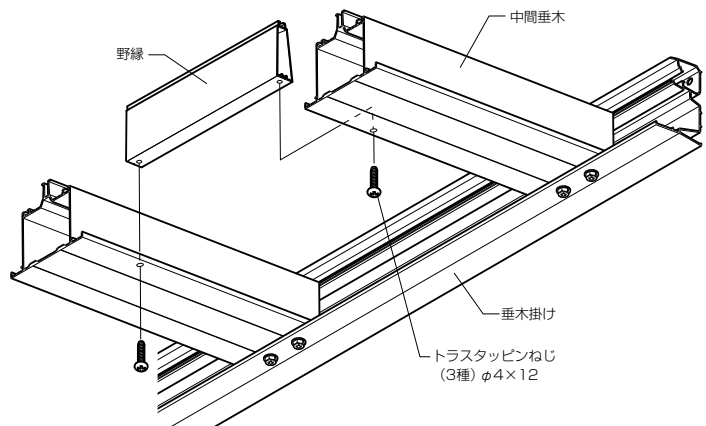


7 野縁の取付け

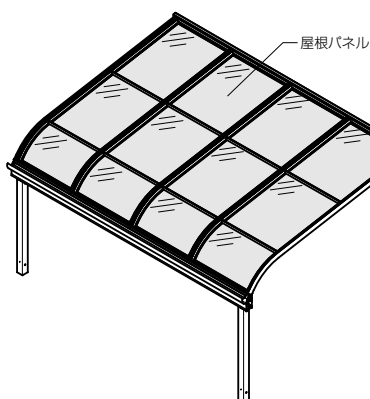


7 野縁の取付け

●真中のスパンから順に図のように野縁を垂木又は端部垂木にねじ止めしてください。



8 屋根パネルの取付け

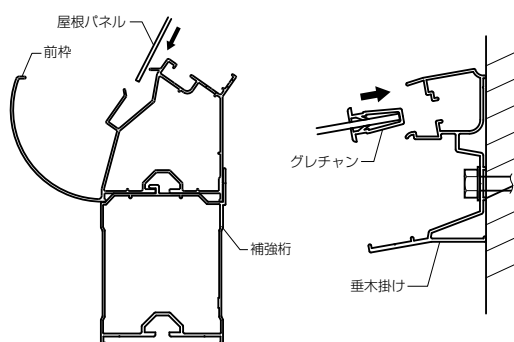


8 屋根パネルの取付け

①屋根パネルの取付け前に屋根パネルの養生シートをはがしてください。

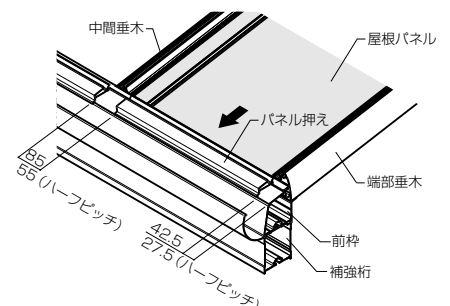
②セイバーテラスの場合、パネル押えを図の位置に合わせます。

③グレチャンを取付け、図のように垂木掛け、前枠パネル押え部に取付けてください。

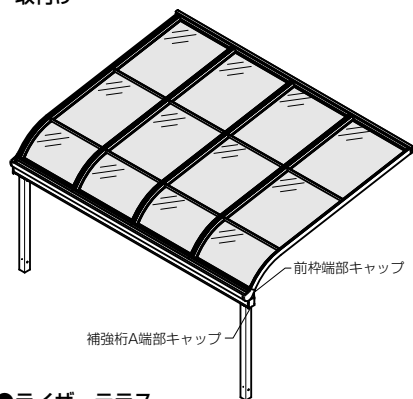


・ポイント・

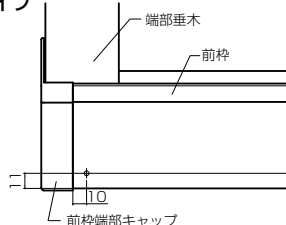
※屋根パネルと垂木カバーは交互に取付けてください。



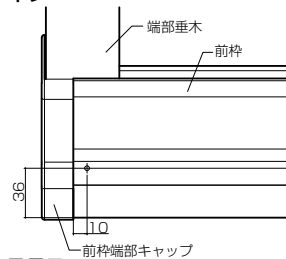
9 前枠端部キャップ・補強桁端部キャップの取付け



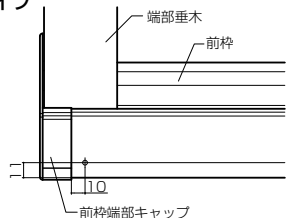
●ライザーテラス ・600タイプ



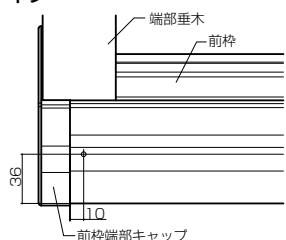
・1500タイプ



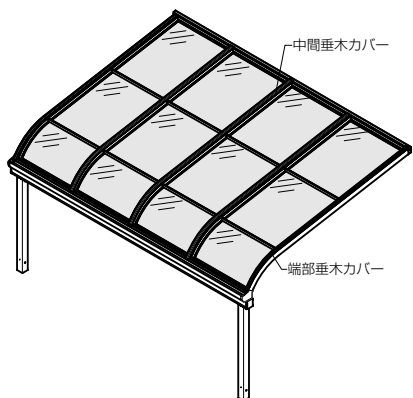
●セイバーテラス ・600タイプ



・1500タイプ



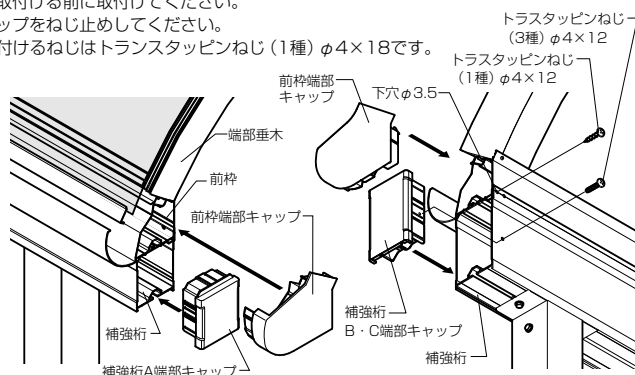
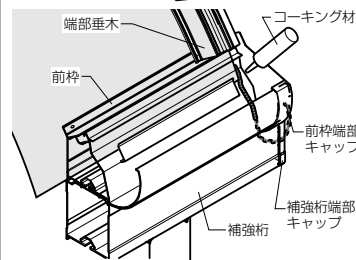
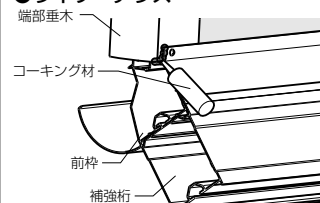
10 垂木カバーの取付け



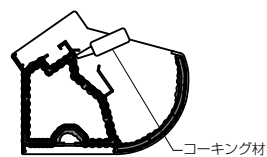
9 前枠端部キャップ・補強桁端部キャップの取付け

- ①前枠と端部垂木の接合部に図のようにシーリングをしてください。
- ②補強桁端部キャップにシーリングをした後、補強桁に取付けてください。
- ※補強桁B・C端部キャップの場合は、補強桁端部キャップにシーリングをした後、補強桁にねじ止めしてください。
- ③前枠端部キャップにシーリングをした後、前枠に取付け、さらに前枠内部にシーリングしてください。
- ※補強桁端部キャップは、前枠端部キャップを取付ける前に取付けてください。
- ※図のように前枠に下穴をあけ、前枠端部キャップをねじ止めしてください。
- ※1500タイプの場合、前枠端部キャップを取付けるねじはトラスタッピンねじ（1種）φ4×18です。

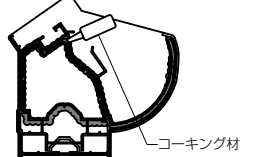
●ライザーテラス



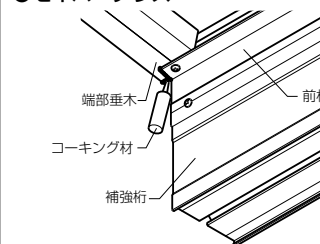
ライザーテラス前枠端部キャップ (600タイプ)



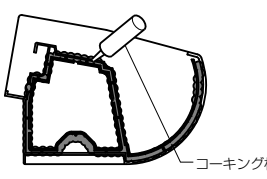
ライザーテラス前枠端部キャップ (1500タイプ)



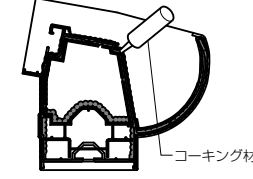
●セイバーテラス



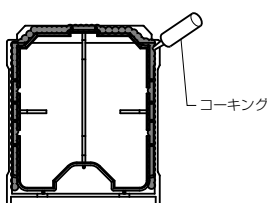
セイバーテラス前枠端部キャップ (600タイプ)



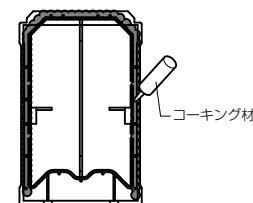
セイバーテラス前枠端部キャップ (1500タイプ)



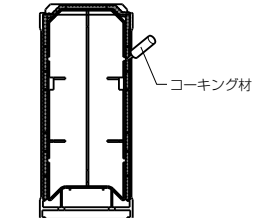
補強桁A端部キャップ



補強桁B・C端部キャップ



補強桁D端部キャップ

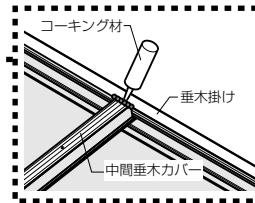
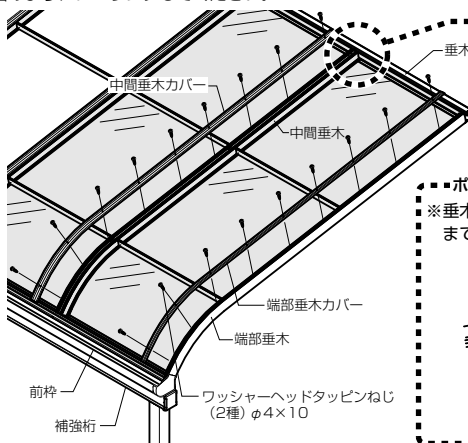


▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・東レシリコン SE960

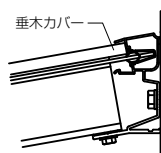
10 垂木カバーの取付け

- ①垂木カバーを垂木掛け側から押込み、図のようにねじ止めしてください。
- ②図のようにシーリングしてください。



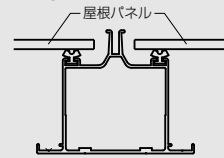
●ポイント

- ※垂木カバーは垂木掛けに当たるまでのみ込ませてください。



▲ 注意

- 屋根の取付けはパネルのみ込みが左右均等になるようにしてください。



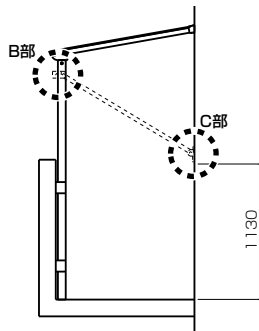
垂木掛け
端部キャップ

前枠端部
キャップ

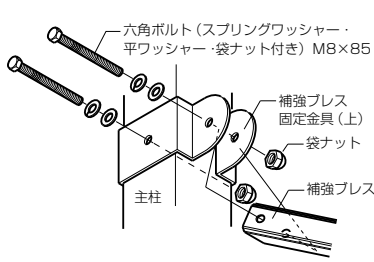
縦どい

■補強プレスの取付け

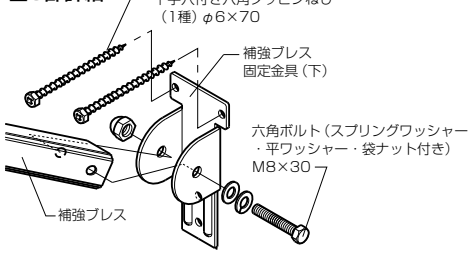
●高い建物のそばや周りに障害物が少ないなどで、直接強い風が吹くような場所では補強プレスで製品の補強をしてください。



■B部詳細



■C部詳細



■連棟タイプの場合

※連棟時の間口部材（前枠・垂木掛け）の切詰めは不要です。

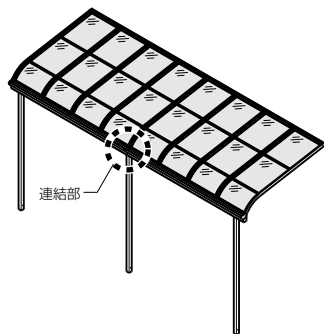
1 前枠・補強桁の加工

2 垂木掛けの取付け

3 前枠・補強桁連棟部の組立て…その①

- ①前枠スリーブの取付け
- ②補強桁スリーブの取付け
- ③前枠ジョイントカバーの取付け

【連結部に柱が取付く場合】

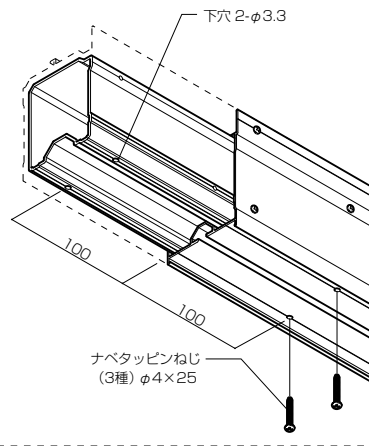


▲ 注意

●シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・東レシリコン SE960

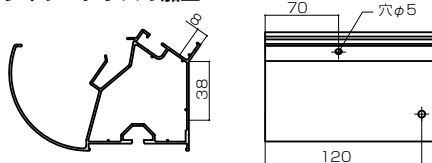
■D部詳細図



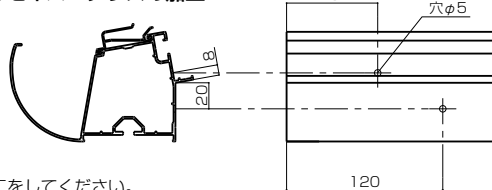
1 前枠・補強桁の加工

●前枠・補強桁の連結する側の端部に図のようにφ5の穴をあけてください。

●ライザーテラスの加工

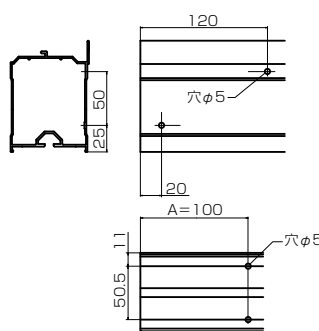


●セイバーテラスの加工

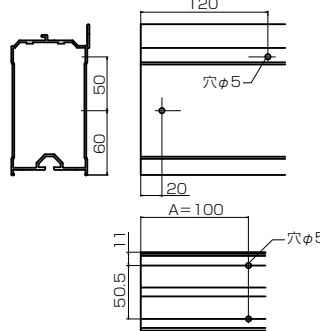


※1500タイプ1.0~2.0間×7~9尺の前枠についても同様の加工をしてください。

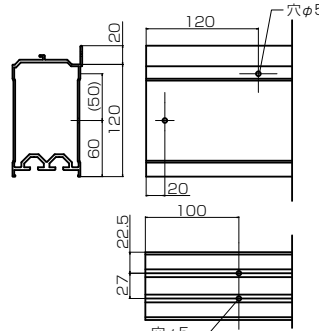
●補強桁Aの加工



●補強桁Bの加工



●補強桁Cの加工



2 垂木掛けの取付け

●垂木掛けの躯体取付け穴（φ6.5）を柱や間柱など躯体構造位置に合わせてあけ直した後取付けてください。

▲ 注意

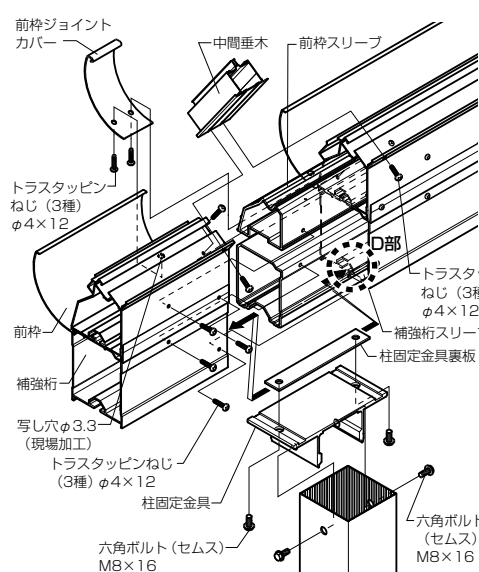
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

3 前枠・補強桁連棟部の組立て

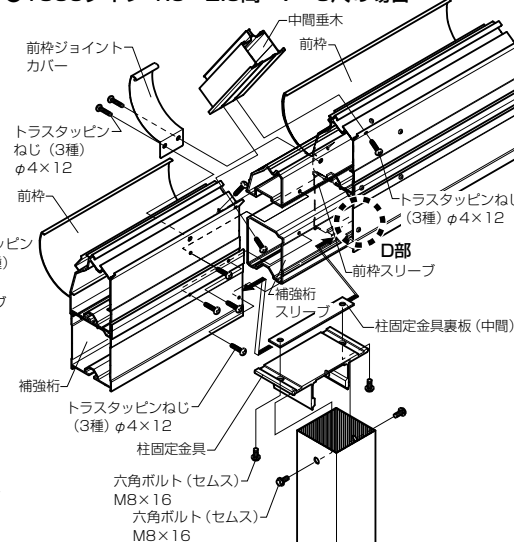
- ①前枠を前枠スリーブにねじ止めします。
- ②補強桁を補強桁スリーブにねじ止めします。
- ③前枠ジョイントカバーをねじ止めします。

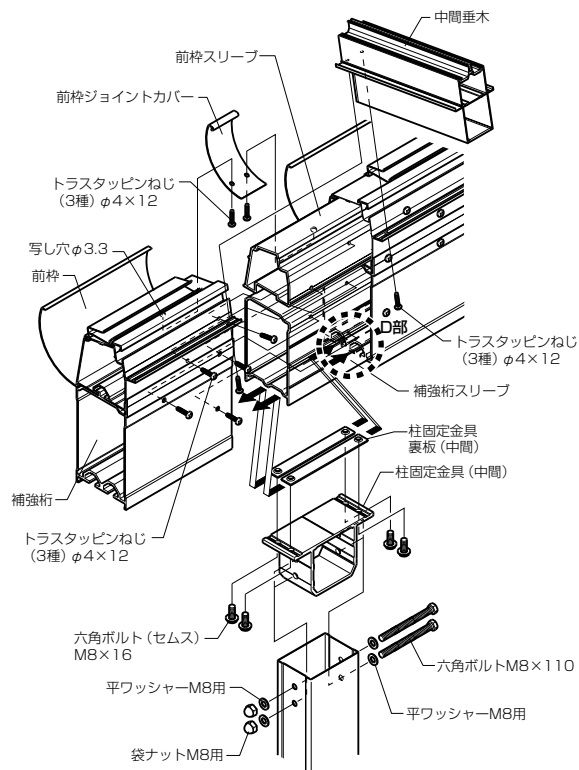
※連結部には垂木が取付きます。

※前面スクリーン（オプション）を取付ける場合は前枠ジョイントカバーは取付け不要です。



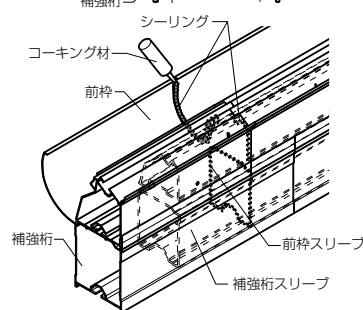
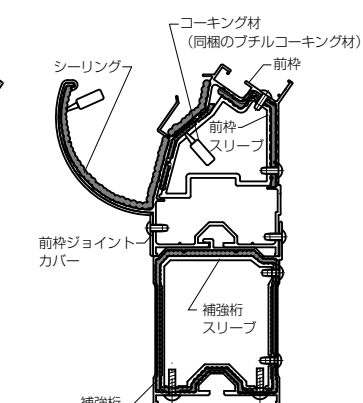
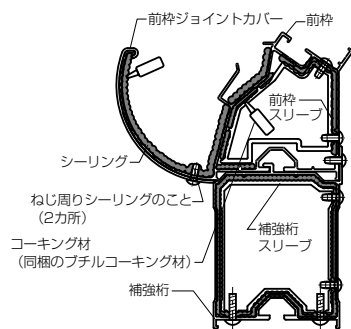
●1500タイプ 1.0~2.0間×7~9尺の場合



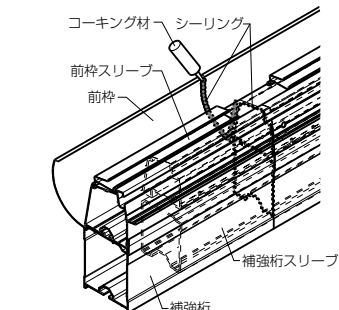
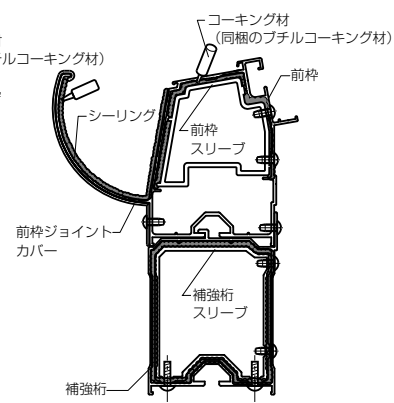
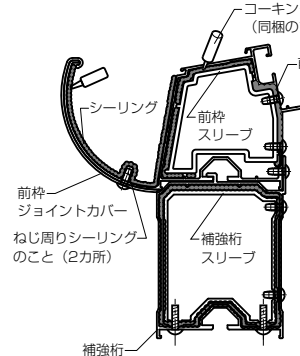


■ジョイントシーリング箇所

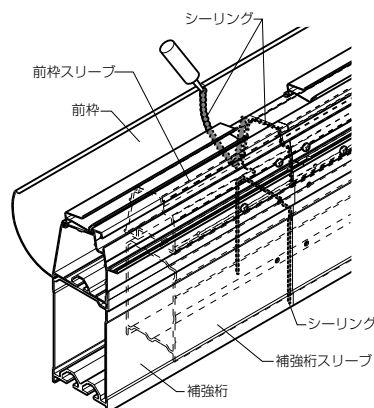
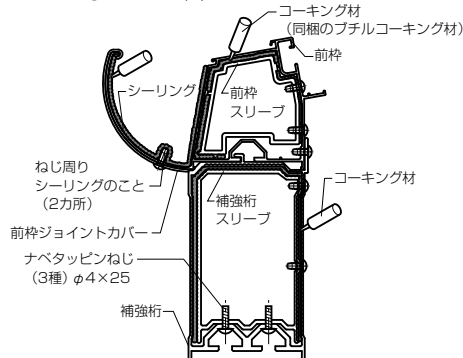
●ライザーテラス



●セイバーテラス



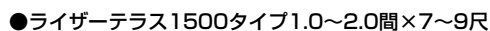
●12・15R



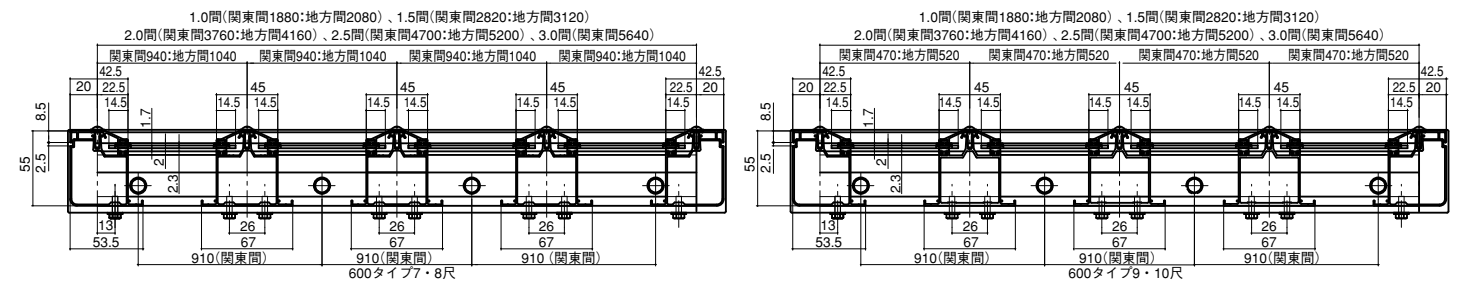
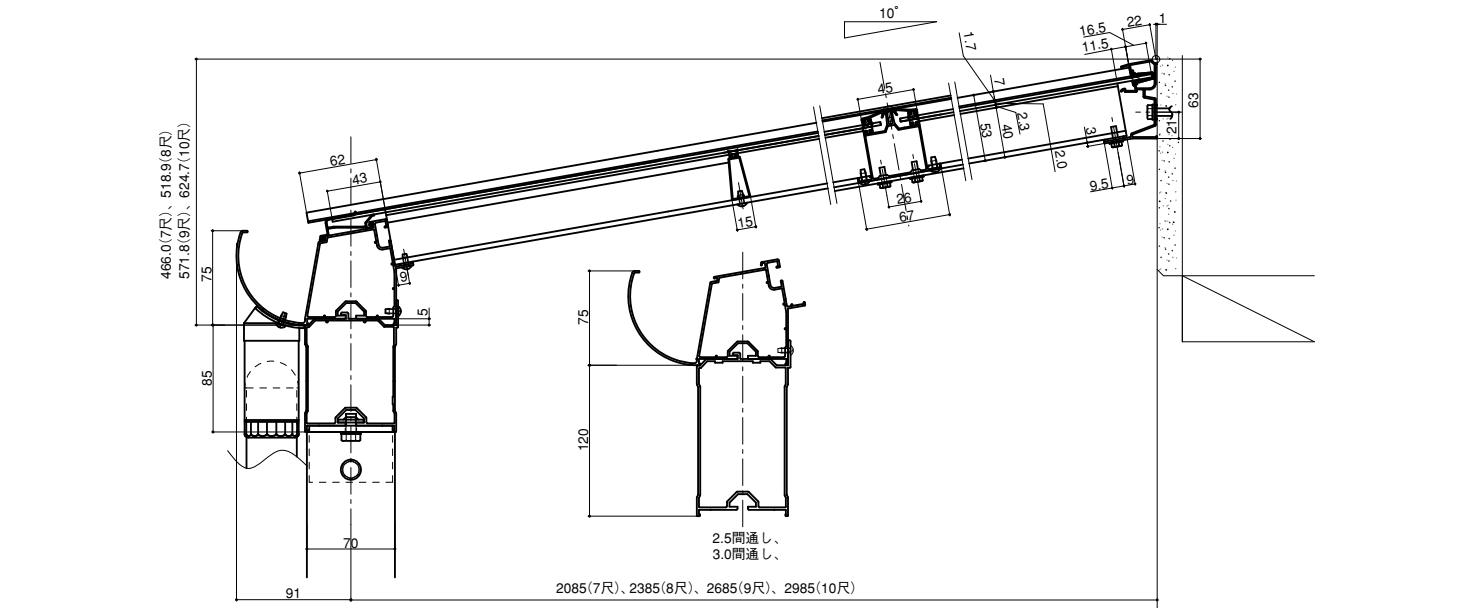
▲注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
 - シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- | | |
|---------|----------|
| ・信越化学工業 | シーラント72 |
| ・東芝シリコン | トスシール380 |
| ・東レシリコン | SE960 |

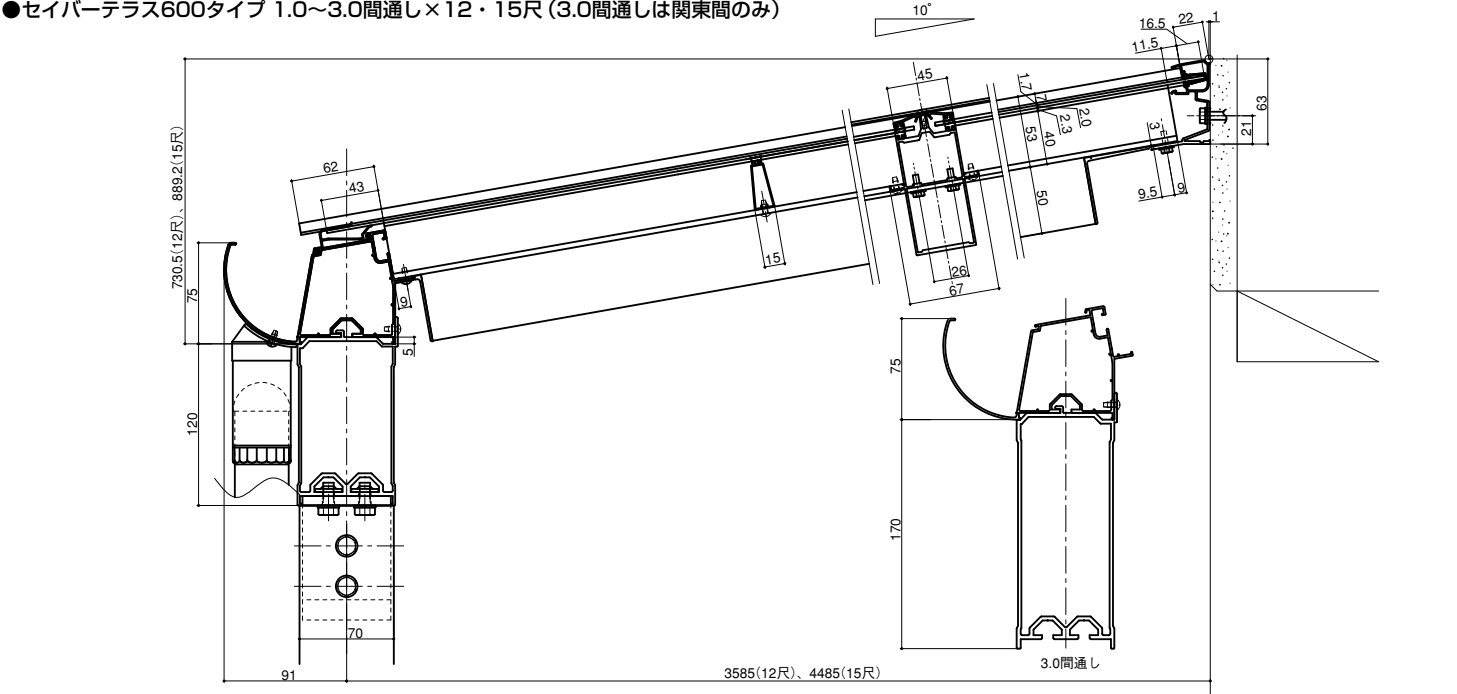
●ライザーテラス600タイプ1.0～3.0間通し×7～10尺(3.0間通しは関東間のみ)



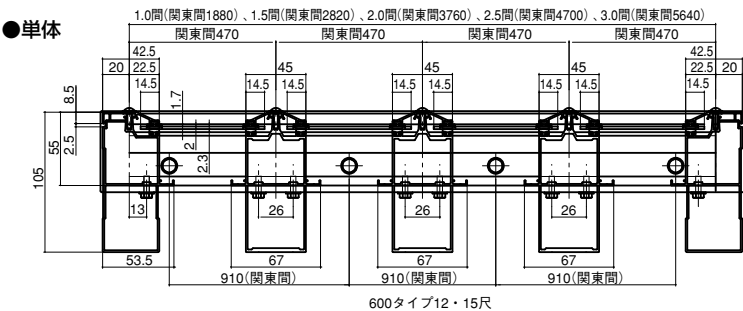
●セイバーテラス600タイプ 1.0〜3.0間通し×7〜10尺 (3.0間通しは関東間のみ)



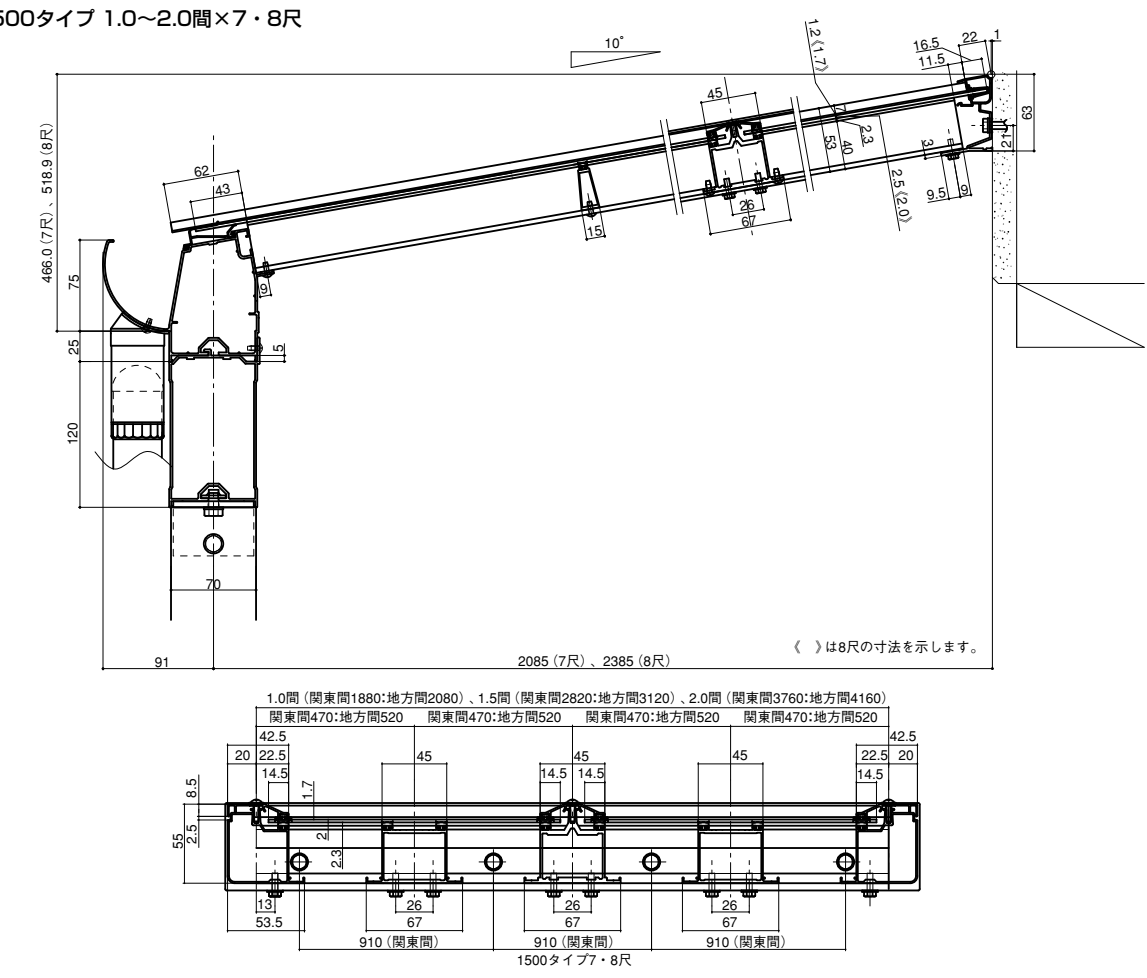
●セイバーテラス600タイプ 1.0〜3.0間通し×12・15尺 (3.0間通しは関東間のみ)



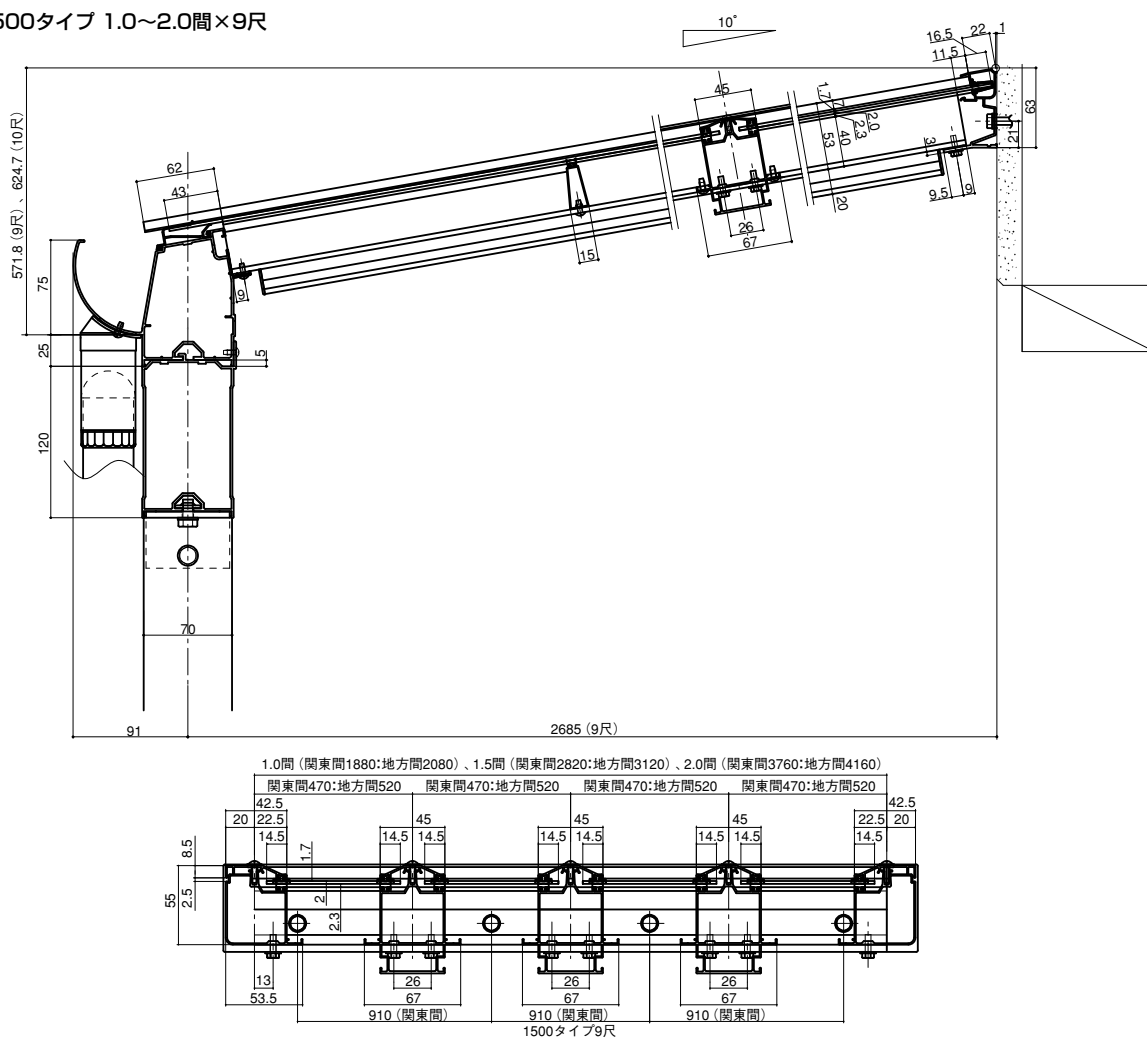
●単体



●セイバーテラス1500タイプ 1.0～2.0間×7・8尺

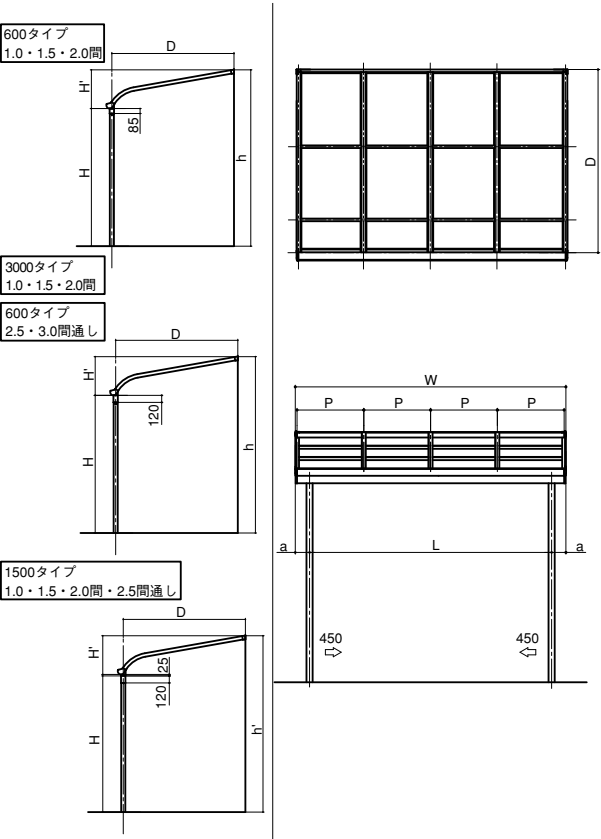


●セイバーテラス1500タイプ 1.0～2.0間×9尺



●ライザーテラス (7尺～10尺)

●単体



出幅

呼称	D
3尺	885
4尺	1185
5尺	1485
6尺	1785
7尺	2085
8尺	2385
9尺	2685
10尺	2985

高さ

呼称	H	H'	h
3尺	448.8	2798.8	
4尺	501.7	2851.7	
5尺	554.6	2904.6	
6尺	607.5	2957.5	
7尺	660.4	3010.4	
8尺	713.3	3063.3	
9尺	766.2	3116.2	
10尺	819.1	3169.1	

※h' (1500タイプの場合) は、h+25
※本図の柱の長さは標準柱を示します。
※長尺柱の長さは標準柱の+600mmになります。
※造付けバルコニー接続の場合、Hは2050mm、
(長尺柱の長さは+450mm) になります。

●単体

【セイバーテラス・ライザーテラス】
間口 (関東間)

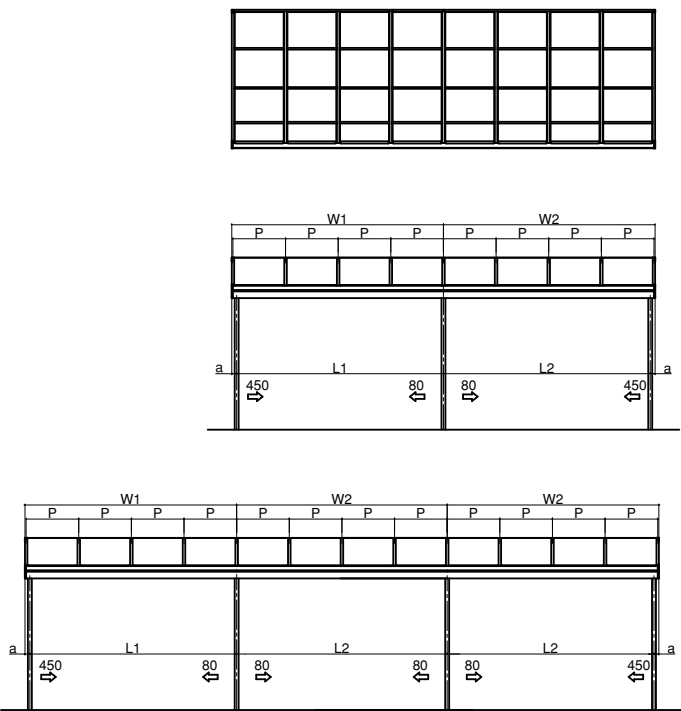
呼称	P(7尺・8尺)	P(9尺・10尺)	L	W	a
1.0間			1746	1920	
1.5間			2686	2860	
2.0間	940	470	3626	3800	87
2.5間通し			4566	4740	
3.0間通し			5506	5680	

間口 (関西間)

呼称	P(7尺・8尺)	P(9尺・10尺)	L	W	a
1.0間			1946	2120	
1.5間			2986	3160	
2.0間	1040	520	4026	4200	87
2.5間通し			5066	5240	

※Wは端部垂木外々寸法です。
※aは端部垂木外側から柱中心までの距離です。
※端部垂木は前枠から20mmはみ出ています。

●連棟



●連棟

【セイバーテラス・ライザーテラス】
間口 (関東間)

呼称	P 7尺・8尺	P 9尺・10尺	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a
3.0間 (1.5+1.5)			2753	2753	—	2840	2840	—	87
3.5間 (1.5+2.0)			2753	3693	—	2840	3780	—	87
4.0間 (2.0+2.0)			3693	3693	—	3780	3780	—	87
4.5間 (2.0+2.5)			3693	4633	—	3780	4720	—	87
5.0間 (2.5+2.5)	940	470	4633	4633	—	4720	4720	—	87
5.5間 (2.0+1.5+2.0)			3693	2820	3693	3780	2820	3780	87
6.0間 (2.0+2.0+2.0)			3693	3760	3693	3780	3760	3780	87
6.5間 (2.0+2.5+2.0)			3693	4700	3693	3780	4700	3780	87
7.0間 (2.5+2.0+2.5)			4633	3760	4633	4720	3760	4720	87

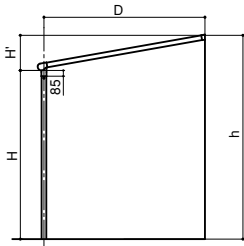
間口 (関西間)

呼称	P 7尺・8尺	P 9尺・10尺	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a
3.0間 (1.5+1.5)			3053	3053	—	3140	3140	—	87
3.5間 (1.5+2.0)			3053	4093	—	3140	4180	—	87
4.0間 (2.0+2.0)			4093	4093	—	4180	4180	—	87
4.5間 (2.0+2.5)			4093	5133	—	4180	5220	—	87
5.0間 (2.5+2.5)	1040	520	5133	5133	—	5220	5220	—	87
5.5間 (2.0+1.5+2.0)			4093	3120	4093	4180	3120	4180	87
6.0間 (2.0+2.0+2.0)			4093	4160	4093	4180	4160	4180	87
6.5間 (2.0+2.5+2.0)			4093	5200	4093	4180	5200	4180	87
7.0間 (2.5+2.0+2.5)			5113	4160	5113	5200	4160	5200	87

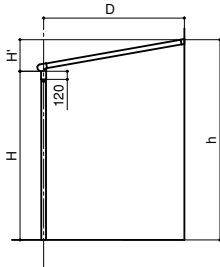
●セイバーテラス (7尺～10尺)

●単体

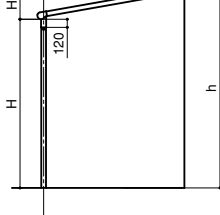
600タイプ
1.0・1.5・2.0間



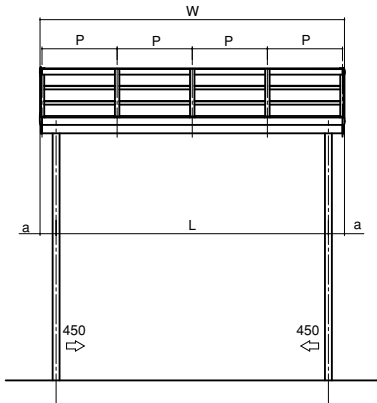
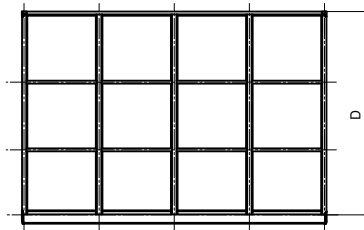
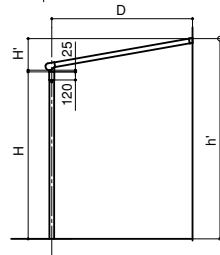
3000タイプ
1.0・1.5・2.0間



600タイプ
2.5・3.0間通し



1500タイプ
1.0・1.5・2.0間



出幅

呼称	D
3尺	885
4尺	1185
5尺	1485
6尺	1785
7尺	2085
8尺	2385
9尺	2685
10尺	2985

高さ

呼称	H	H'	h
3尺	2500	254.4	2754.4
4尺		307.3	2807.3
5尺		360.2	2860.2
6尺		413.1	2913.1
7尺		466.0	2966.0
8尺		518.9	3018.9
9尺		571.8	3071.8
10尺		624.7	3124.7

※h' (1500タイプ)の場合は、h+25
※本図の柱の長さは標準柱を示します。
※長尺柱の長さは標準柱の+600mmになります。
※造り付けバルコニー接続の場合、Hは2250mm、(長尺柱の長さは+450mm)になります。

●単体

【セイバーテラス・ライザーテラス】

間口 (関東間)

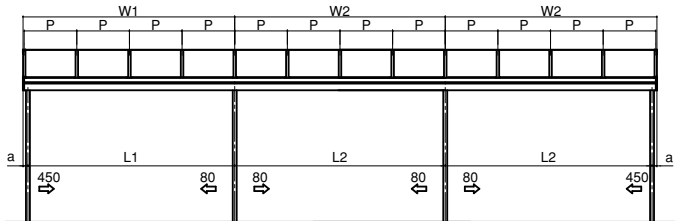
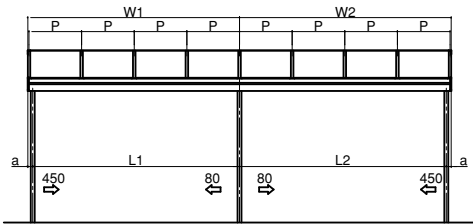
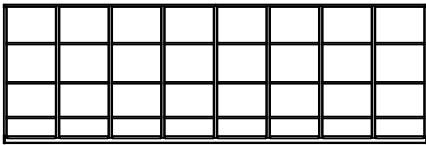
呼称	P (7尺)	P (8～10尺)	L	W	a
1.0間	940	470	1746	1920	87
1.5間			2686	2860	
2.0間			3626	3800	
2.5間			4566	4740	
3.0間			5506	5680	

間口 (関西間)

呼称	P (7尺)	P (8～10尺)	L	W	a
1.0間	1040	520	1946	2120	87
1.5間			2986	3160	
2.0間			4026	4200	
2.5間			5066	5240	

※Wは端部垂木外々寸法です。
※aは端部垂木外側から柱中心までの距離です。
※端部垂木は前枠から20mmはみ出しています。

●連棟



●連棟

【セイバーテラス・ライザーテラス】

間口 (関東間)

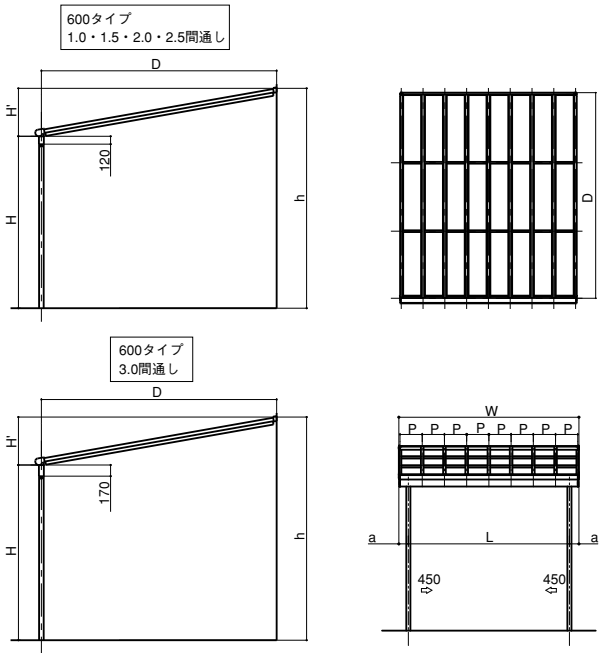
呼称	P 7尺・8尺	P 9尺・10尺	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a
3.0間 (1.5+1.5)	940	470	2753	2753	—	2840	2840	—	87
3.5間 (1.5+2.0)			2753	3693	—	2840	3780	—	87
4.0間 (2.0+2.0)			3693	3693	—	3780	3780	—	87
4.5間 (2.0+2.5)			3693	4633	—	3780	4720	—	87
5.0間 (2.5+2.5)			4633	4633	—	4720	4720	—	87
5.5間 (2.0+1.5+2.0)			3693	2820	3693	3780	2820	3780	87
6.0間 (2.0+2.0+2.0)			3693	3760	3693	3780	3760	3780	87
6.5間 (2.0+2.5+2.0)			3693	4700	3693	3780	4700	3780	87
7.0間 (2.5+2.0+2.5)			4633	3760	4633	4720	3760	4720	87

間口 (関西間)

呼称	P 7尺・8尺	P 9尺・10尺	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a
3.0間 (1.5+1.5)	1040	520	3053	3053	—	3140	3140	—	87
3.5間 (1.5+2.0)			3053	4093	—	3140	4180	—	87
4.0間 (2.0+2.0)			4093	4093	—	4180	4180	—	87
4.5間 (2.0+2.5)			4093	5133	—	4180	5220	—	87
5.0間 (2.5+2.5)			5133	5133	—	5220	5220	—	87
5.5間 (2.0+1.5+2.0)			4093	3120	4093	4180	3120	4180	87
6.0間 (2.0+2.0+2.0)			4093	4160	4093	4180	4160	4180	87
6.5間 (2.0+2.5+2.0)			4093	5200	4093	4180	5200	4180	87
7.0間 (2.5+2.0+2.5)			5113	4160	5113	5200	4160	5200	87

●セイバーテラス (12尺～15尺)

●単体



出幅		高さ		
呼称	D	呼称	H	H' h
12尺	3585	12尺	2500	730.5 3230.5
15尺	4485	15尺		889.2 3389.2

●単体

間口 (関東間)

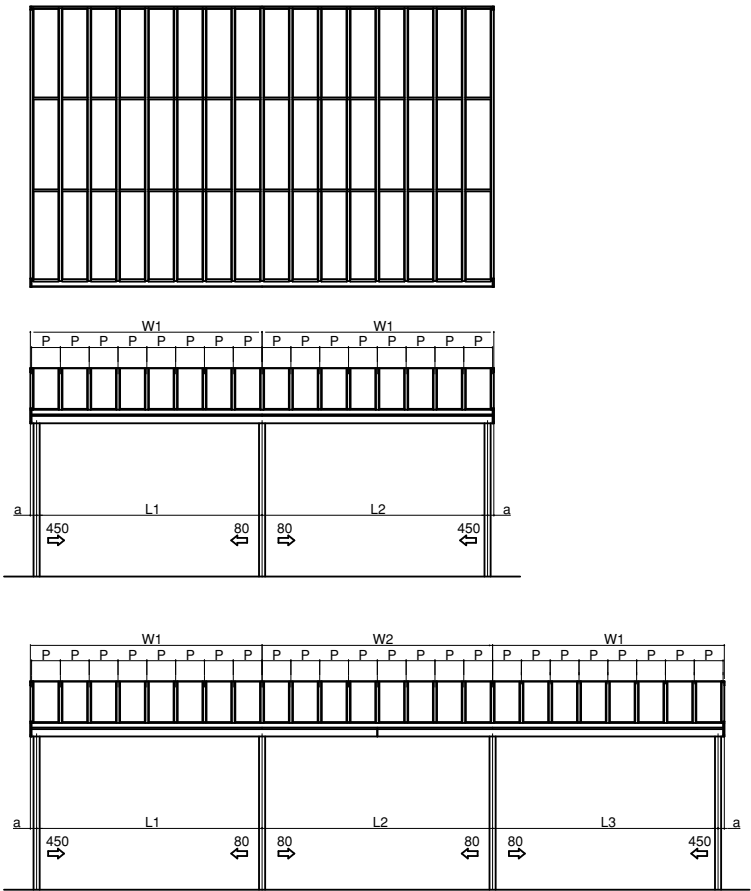
呼称	P	L	W	a
1.0間		1716	1920	102
1.5間		2656	2860	102
2.0間	470	3596	3800	102
2.5間通し		4536	4740	102
3.0間通し		5476	5680	102

●連棟

間口 (関東間)

呼称	P	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a
3.0間 (1.5+1.5)		2738	2738	—	2840	2840	—	102
3.5間 (1.5+2.0)		2738	3678	—	2840	3780	—	102
4.0間 (2.0+2.0)		3678	3678	—	3780	3780	—	102
4.5間 (2.0+2.5)		3678	4618	—	3780	4720	—	102
5.0間 (2.5+2.5)		4605	4618	—	4720	4720	—	102
5.5間 (2.0+1.5+2.0)	470	3678	2755	3650	3780	2820	3780	102
6.0間 (2.0+2.0+2.0)		3678	3650	3650	3780	3760	3780	102
6.5間 (2.0+2.5+2.0)		3678	4605	3650	3780	4700	3780	102
7.0間 (2.5+2.0+2.5)		4618	3650	4605	4720	3760	4720	102

●連棟



■梱包明細書

●柱セット(テラス用)

名 称	員 数			
	主柱B		中間柱A	
	標準	長尺	標準	長尺
テラス柱	2	2	1	1
柱固定金具(中間)	2	2	1	1
柱固定金具裏板(中間)	2	2	1	1
アンカー棒	2	2	1	1
六角ボルト(セムス) M8×16	8	8	4	4
縦どい(φ40)	1	1	1	1
取扱い説明書	1	1	1	1

●柱セット(大型用)

名 称	員 数	
	1本入	2本入
テラス柱(セイバーテラス12・15尺用)	1	2
柱固定金具(大型用)	1	2
柱固定金具裏板(大型用)	2	4
アンカー棒	1	2
六角ボルトM8×110	2	4
六角ボルト(セムス) M8×18	4	8
平ワッシャーM8用	4	8
袋ナットM8用	2	4
縦どい(φ40)	1	1
取扱い説明書	1	1

●長さセット(7・8尺用)

名 称	員 数				
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し
前枠	1	1	1	1	1
垂木掛け	1	1	1	1	1
パネル押え ※ライザーテラスには入っていません	2	3	4	5	6
グレチャン	2	3	4	5	6
縦どい	1	1	1	2	2
コーキング材	1	1	1	1	1
垂木掛け取付けボルト	5	5	5	7	7
垂木掛け取付け座金	5	5	5	7	7
雨どいアタッチメント	1	1	1	2	2
穴ふさぎキャップ	1	1	1	—	—
雨どいバックシン	2	2	2	2	2
92°エルボ	2	2	2	4	4
ドレンエルボ(φ40)	1	1	1	2	2
ドレンエルボキャップ	1	1	1	2	2
ドレンエルボバックシン	1	1	1	2	2
雨どいでんでん	3	3	3	6	6
トラスタッピンねじ(3種) φ4×14	7	7	7	10	10
接着剤	1	1	1	1	1

●中間垂木セット

名 称	員 数																				
	7尺			8尺			9尺			9R1500タイプ用			10尺			12尺			15尺		
	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入
中間垂木	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
中間垂木カバー	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
中間垂木L端部キャップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	4	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中間垂木M端部キャップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	4	6	2	4	6
十字穴付き六角ボルトM4×12	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6
平ワッシャーM4用	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6
トラスタッピンねじ(3種) φ4×12	8	16	24	8	16	24	6	12	18	6	12	18	6	12	18	6	12	18	6	12	18
ワッシャーヘッドタッピンねじ(2種) φ4×12 (D=10)	10	20	30	11	22	33	12	24	36	12	24	36	14	28	42	16	32	48	20	40	60

●補強垂木セット

名 称	員 数					
	7尺			8尺		
	2本	3本	4本	2本	3本	4本
補強垂木	2	3	4	2	3	4
十字穴付き六角ボルトM4×12	4	6	8	4	6	8
平ワッシャーM4用	4	6	8	4	6	8
トラスタッピンねじ(3種) φ4×12	10	15	20	10	15	20

●前枠端部部品セット

名 称	員 数	
	600タイプ	1500タイプ
前枠端部キャップ(左)	1	1
前枠端部キャップ(右)	1	1
垂木掛け端部キャップ(左)	1	1
垂木掛け端部キャップ(右)	1	1
取付け説明書	1	1
トラスタッピンねじ(1種) φ4×12	2	—
トラスタッピンねじ(1種) φ4×18	—	2
トラスタッピンねじ(3種) φ4×12	2	2

●アクリル・ポリカーボネート・熱線遮断ポリカーボネート屋根パネル
(12尺・15尺にはライザーテラス、関西間、アクリル・熱線遮断ポリカーボネートはありません)

名 称	員 数													
	7尺			8尺			9尺			10尺			12尺	15尺
	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	2枚入
セイバー パネル7尺 (関東間／2128×924 t=2.0) (関西 九州・四国間／2128×1024 t=2.0)	2	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パネル8尺 (関東間／2432.5×924 t=2.0) (関西 九州・四国間／2432.5×1024 t=2.0)	—	—	—	2	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—
パネル9尺 (関東間／2737×454 t=2.0) (関西 九州・四国間／2737×504 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	—	—
パネル10尺 (関東間／3042×454 t=2.0) (関西 九州・四国間／3042×504 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—
パネル12尺 (関東間／3651×454 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
パネル15尺 (関東間／4565×454 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
ライザー パネル7尺 (関東間／2248×924 t=2.0) (関西 九州・四国間／2248×1024 t=2.0)	2	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パネル8尺 (関東間／2552.5×924 t=2.0) (関西 九州・四国間／2552.5×1024 t=2.0)	—	—	—	2	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—
パネル9尺 (関東間／2857×454 t=2.0) (関西 九州・四国間／2857×504 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	—	—
パネル10尺 (関東間／3161.5×454 t=2.0) (関西 九州・四国間／3161.5×504 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—

●長さセット(9～15尺用)

名 称	員 数				
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し
前枠	1	1	1	1	1
垂木掛け	1	1	1	1	1
パネル押え ※ライザーテラスには入っていません	4	6	8	10	12
グレチャン	4	6	8	10	12
縦どい	1	1	2	2	2
コーキング材	1	1	1	1	1
六角タッピンねじ(1種) φ6×70	5	5	7	7	7
平ワッシャーM6用	5	5	7	7	7
雨どいアタッチメント	1	1	2	2	2
穴ふさぎキャップ	1	1	—	—	—
雨どいバックシン	2	2	2	2	2
92°エルボ	2	2	4	4	4
ドレンエルボ(φ40)	1	1	2	2	2
ドレンエルボキャップ	1	1	2	2	2
ドレンエルボバックシン	1	1	2	2	2
雨どいでんでん	3	3	6	6	6
トラスタッピンねじ(3種) φ4×14	7	7	10	10	10
接着剤	1	1	1	1	1

●桁セット

名 称	員 数	
	1.0～2.0間	2.5・3.0間
補強桁	1	1
トラスタッピンねじ(3種) φ4×12	5	8

●野縁A1セット

名 称	員 数				
	6本入	9本入	12本入	15本入	18本入
野縁A	6	9	12	16	24

●野縁A2セット(ハーフピッチ用)

名 称	員 数				
	8本入	12本入	16本入	20本入	24本入
野縁A(ハーフピッチ用)	8	12	16	20	24

●端部垂木セット

名 称	員 数			
	7・8尺	9・10尺	12尺	15尺
端部垂木(左) ※セイバーテラス7～10尺に左右はありません	1	1	1	1
端部垂木(右) ※セイバーテラス7～10尺に左右はありません	1	1	1	1
端部垂木カバー(左) ※セイバーテラスに左右はありません	1	1	1	1
端部垂木カバー(右) ※セイバーテラスに左右はありません	1	1	1	1
大型用端部垂木端部キャップ	—	—	4	4
十字穴付き六角ボルトM4×12	2	2	2	2
平ワッシャーM4用	2	2	2	2
トラスタッピンねじ(3種) φ4×12	8	6	6	6
ワッシャーヘッドタッピンねじ(2種) φ4×12 (D=10)	41	53	61	77

●桁端部部品セット

名 称	員 数		
	補強桁A	補強桁BC	補強桁D
補強桁A端部キャップ	2	—	—
補強桁B・C端部キャップ	—	2	—
補強桁D端部キャップ	—	—	2
トラスタッピンねじ(3種) φ4×12	—	2	2

●連棟部品セット

名 称		員 数
前枠スリーブ		1
前枠ジョイントカバー		1
トラスタッピンねじ(3種) φ4×12		6

●桁連結材セット

名 称		員 数
補強桁スリーブ		1
トラスタッピンねじ(3種) φ4×12		4
ナベタッピンねじ(3種) φ4×25		4